

JR連合2018

賀詞交歓会を開催



河村事務局長による開会挨拶後、松岡会長より、新年のご挨拶として、安全確立・民主化闘争・2018春闘等について述べられ、中でも安全問題では、昨年末に起きた、新幹線台車亀裂重大インシデント、各会社やグループ会社で起きている重大労災を受け、さらなる安全確立を目指し、再発防止に努めることを強く話されました。

その後、来賓の方々より、ご挨拶を頂き、レセプションを経て、最後にジェイアール・イーストユニオン菅野委員長による、民主化闘争への決意と閉会挨拶を経て、会は終了しました。

JR連合 単組書記長・事務局長会議を開催

JR連合は、1月9日、都内において、単組書記長・事務局長会議を開催、本部より辻村書記長が出席し、2018春闘の具体的な要求について討議しました。

JR連合より、2018春闘方針案が提起され、辻村書記長は、「貨物鉄産労の方針は、定期昇給はもちろんのこと、基本スパンはJR連合の方針に従う。会社は中期経営計画2021で、新人事賃金制度導入を考へており、早ければ来年度中に提案され、31年4月導入される。中身については、現時点全

く不透明である。今春闘も、55歳以上の賃金改善とグループ労組の賃金改善を強く求めていく。本体は18年連続ペア0であり、何としても成果を出し、グループ会社に波及していきたい」と発言しました。

グループである、ロジ会社は、本体よりも低い労働条件下であり、それにより慢性的な要員不足が続く、業務において安全が担保されているか不安視されています。求人募集を常にしています。求人が入って来ず、辞めるのが、繰り返しが続く、その最たる原因は低賃金であります。現在、要員不足を超勤対応でカバーしていますが、いつパンクしてもおかしくない状況が続いており、東の横網、東京(夕)、西の横網、福岡(夕)で、荷役作業が滞れば、列車への影響、収支への影響は図り知れません。本社はこの状況を認識し、労働に見合った労働条件を早期に確立し、一人でも多くの要員を確保することが必要です。

本体においても、人材確保が難しい時代に突入しています。今後、日本は人口減・超高齢化社会・労働力不足等、今までに経験したことのない時代へと突き進んでいき、東京都でさえ、2025年をピークに人口減少すると言われています。労働力不足の影響は、すでに始まっており、ファミリレストラン24時間営業取り止め、コンビニ24時間営業見直し、社員のモチベーションアップやストレス解消のため、元旦を休日にするデパートや量販店等が出てきています。トヨタなど大企業も先を見据え、優秀な人材を確保するために、労働条件を改善する動きがあり、貨物会社も早急



に対応することが求められます。2月5日JR連合中央委員会を経て、2月9日に開催される全国代表者会議にて決定します。

昨年末、鹿児島線千早操車場構内において重大労災が発生しました。今一度、安全に対する意識を見つめ直し、業務においては安全最優先でお願いします。

2018年 JR東日本労働組合秋田 地本合同旗開き開催

1月7日、秋田市内において、JR東日本労働組合秋田地方本部・貨物鉄産労秋田支部・JR秋田協議会合同の2018年新春合同旗開きが開催(70名参加、貨物から7名)されました。

佐藤俊樹委員長(JR東日本ユニオン) 開会の挨拶には、じまり、御来賓には、連合秋田会長黒崎保樹、東北労働金庫秋田県本部部長東海林悟、秋田市議会議員藤枝隆博、全交運共済秋田事業所高橋所長、JR連合秋田退職者連絡会会



長渡辺重雄、東日本ユニオン中央本部執行委員長佐藤光雄さんの各挨拶を受けました。佐藤春美委員長(貨物鉄産労秋田支部委員長)の乾杯の挨拶では「今年は成年ですの、皆さん人間ドッグを受診されまして健康にご留意して下さい」と細かいシヤレが入り、宴会は始まりました。

その後、恒例の新春大抽選会行われ、貨物7名中5名が当たるという高い当選となり、その後、中締めと続き、最後はJR秋田協議会議長組谷忠誠さんの乾杯で会は終了しました。

中部分会が

第31回定期大会を開催

12月30日、第31回定期中部分会大会が静岡市内にて行われました。青島書記長の開会の挨拶で始まり、竹田分会長からは一年間の総括として、組織拡大に向けて尽力していくこと、今回の役員改選により役員体制がJR採用の方々に変わっていくがサポートしていくと挨拶されました。

民主化3単組決意表明



続いて本部大杉委員長の挨拶では、「九州地区で死亡労災が発生した、安全に対する意識を再認識して頂きたい」と述べられ、東海地区本部富田副委員長からは、「ダイヤ改正について」話をされました。

続いて交通共済から、静岡営業所深沢所長にお越しいただき、近況を述べられ、続いて執行部より、2017活動経過、2018活動方針(案)、会計監査報告がなされ、満場一致で可決されました。最後に役員改選により新執行委員となった方々からの挨拶があり、分会大会が終了、続いて忘年会を開催し、一年間の疲れを癒しました。

冬期に入り自然災害や輸送障害の多い時期になりましたが、労災や体調管理には十分注意し、業務においては安全最優先をお願いします。ちよとした気の緩みや油断が重大事故を誘発する恐れがあることを認識しましょう。



JR東海連合主催 マリオットホテル クリスマス パーティーを開催

パーティーを開催



昨年12月13日、JR東海連合主催で毎年恒例のクリスマスパーティーが名古屋マリオットホテルにて開催され、東海地区本部から2名参加しました。

当日は、各テーブルに男性と女性が半数のグループに分かれ、各自自己紹介をしたのち、立食パーティーをしながら交流しました。その後グループ対抗レクリエーションが行われ、各グループからは大きな歓声が挙がっていました。最後にメインのプレゼント交換が行われグループ内の男性と女性で交換しパーティーの最後を彩るふさわしいイベントとなりました。

第32回静岡支部 西部分会定期大会開催

昨年12月19日、浜松市内において、第32回西部分会定期大会を開催しました。

小山分会長の開会の挨拶から始まり、議事次第を進め、来賓挨拶では、普段より大変お世話になってる労金担当者を今回初めて招き、業務多忙ということもあり限られた時間で挨拶を頂きました。続いて、東海地区本部富田副委員長からは、12月18日鹿児島線千早操車場構内で発生時した鉄道人身障害事故についての説明、組織関係では静岡地区でここ数年、組織拡大が成されていないことに触れ、組織の重要性について話を頂きました。その後、経過報告を行い議事に入り、①2018年度運動方針(案)、②加入・脱退の承認について、③2017年度決算報告、④会計監査報告、⑤2018年度予算(案)について⑥運動方針の承認について、⑦決算・予算の承認について小山分会長より発言され、質疑応答後、各項目承認されました。



最後に小山分会長の閉会のあいさつで締め定期大会は成功裏に終了しました。大会終了後は場所を移動し、1年の労を労う忘年会を開催しました。

来年も全員で楽しい忘年会が迎えられるよう無事故で業務を遂行し、命を落とす労災は決して発生させないよう安全最優先を心がけましょう。

第32回稲沢機関区分会 が定期大会を開催



昨年12月21日、東海地区本部事務所において、第32回定期分会大会が開催されました。地区本部より榎執行委員長にお越し頂き、会社の動向やこの間の様々な取り組みに対する御礼、今後の分会としての取り組みに対するお願いがありました。

今年は人事の年という事で、武藤分会長から驚見新分会長に変わり新たな体制となり、分会全体で会社・組合員の為に、奮闘していく決意を確認しました。

人生を渡っていくには、 しっかりした橋が必要です。

長い人生には、病気、交通事故、火災、地震...など、何が待っているかわかりません。
安心できる暮らしの「架け橋」として交通共済が頼りになります。
営利を追求しないぶん、少ない掛金で大きな保障が得られるのが大きな特徴。
しっかりワイドにガードする、交通共済をお役立てください。



みんなで暮らしをガード
交通共済
全国交通運輸業労働者共済生活協同組合